

地域

団体名

手ノ子区協議会

活動地

飯豊町大字手ノ子字八幡及び大字高峰字松元

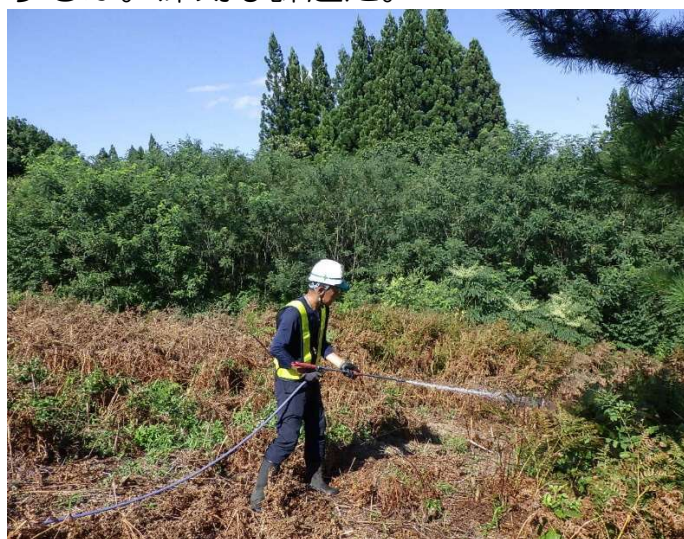
団体紹介

【経過】手ノ子区協議会は、地域課題の協議組織として発足。その後、「里づくり活動」に取り組む。【里づくり活動】①手ノ子地区計画推進②越後米沢街道宇津峠再現③スキー場周辺環境整備④ホタルの里づくり⑤桜の森づくり⑥地域家庭料理の発掘などを実施。【活動資金】会費47万5200円(1世帯3,300円)+助成金(町・県・民間)で総額221万円(R6現在)。【表彰・顕彰】H25知事賞(ホタルの里づくり)、H26環境大臣賞(ホタルの里づくり)、H27総務大臣賞(里づくり活動)、H28山形の宝登録・助成(宇津峠再現)。H29知事賞(桜の森づくり)を受賞した。

活動内容

八幡山桜の森づくり

荒廃採草地を、サクラを主にした「花の森」を整備するほか、新・深緑(ブナ)などの森を整備して、雪解けから降雪まで楽しめる、「人の心を休め、回復する森」を目指している。着工から15年目。近年、後継担い手と作業従事者の確保し難くなってきている。これにどう対応するか。深刻な課題だ。



R6の事業

サクラの森づくりの大敵は「ニセアカシヤ」。放っておけば、サクラが壊滅するかも。今年は、カレター(イノブアントケアKK)を6月と8月に2回散布。写真(上)は2回目の散布。6月の散布で相当枯死。来春、再点検する。



森の学習会

手ノ子小の子どもたちと学ぶ今年の森の学習会は、10月30日に実施。

あいにくの雨天のため、校舎内で行った。

ことは、私たちの周りの里山に自生しているヤマザクラの話。

オオヤマザクラ【写真上】、カスミザクラ【同中上】、オクチョウジザクラ、【同中下】、ウミズザクラ【同下】の4種について、自生する場所、花の色、開花の時期などの話をした。

写真だけでは、よく分からないので、来春、花が咲いている時期に花の様子などを見ることにした。

活動を行っての感想

「荒れ果てた採草地を有効活用しよう。」と始めた「桜(はな)の森づくり」だが、思った以上に土質が悪いうえ、早春に残雪が滑る斜面や地下水が異常に高いところが広範にあり、植栽樹の生育が悪く、計画の見直しに迫られている。採草地化の際に地表面の凹凸を極力なくしたことが原因のようだ。山の自然らしさを壊した罰(「山の神の怒り」)のようにも思える。